



りゅうおう

議会だより

No.161
2012.11.1

RYUOH

編集発行 ● 滋賀県蒲生郡 竜王町議会 ☎0748-58-3713(直通) (有)58-3713



「田んぼのオーナー」 稲刈り体験

平成24年第3回定例会・第1回臨時会

- ・平成23年度決算認定……………2～3
- ・平成24年度補正予算・第1回臨時会……………4～5
- ・一般質問……………6～12

各委員会活動……………12～16

いきいき人生 菱田 修三さん……………16

平成23年度

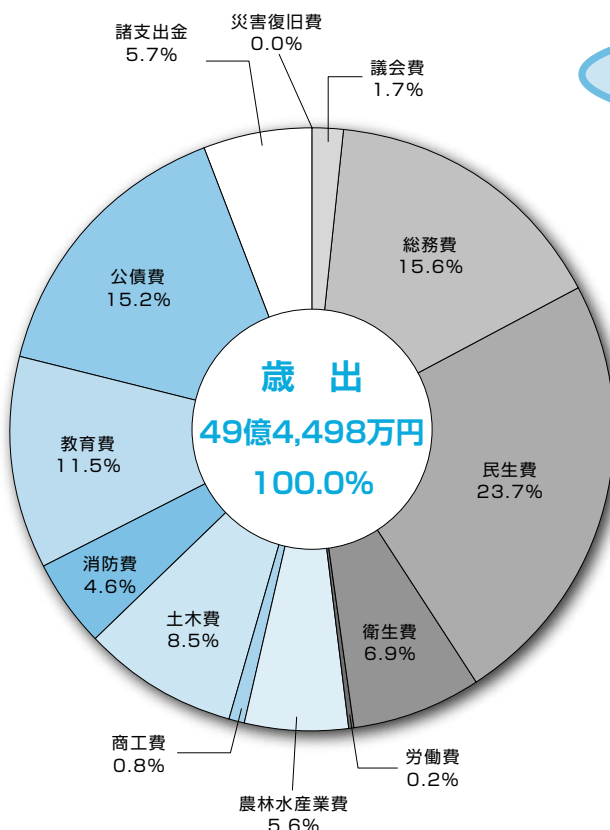
決算を

一般会計

歳出総額 49億4,498万円

平成23年度

歳出
(目的別)



財政健全化への取り組みの検証が必要!!

平成23年度一般会計では、町税収入全体で前年度に比較して4億1712万円と大きく減少しました。一方、財政健全化指標の一つである実質公債費比率は、前年度19.3%に対して、平成23年度は18.4%と僅かながら改善しましたが、県下で二番目に悪い数値となっています。

決算に関する意見

●財政健全化の取り組み状況については、平成22・23年度において目標額2億1800万円に対して86.2%の達成率であった。
各項目のアンバランスも目立つので結果に対しての検証を平成24年度後半に向けて実施し、今後も財政健全化の取り組みを引き続き強化願いたい。
●特別会計各事業において、滞納など未収金が増加傾向にあるため、今後しっかりとした計画、また目標を持って、一層の収納に努められたい。

財政健全化への取り組み状況 (平成22・23年度)

単位：千円

取り組み内容	22年度		23年度		合 計	
	目標額	達成額	目標額	達成額	目標額	達成額
【歳出の削減】						
各種委員報償費の廃止	△ 4,000	△ 4,820	△ 4,000	△ 5,111	△ 8,000	△ 9,931
イベント開催補助金の隔年補助	△ 4,000	△ 3,840	△ 2,000	△ 1,672	△ 6,000	△ 5,512
補助金の20%削減	△11,000	△ 9,016	△11,000	△ 9,545	△22,000	△18,561
各種先進地研修の2ヵ年凍結	△ 2,000	△ 2,317	△ 2,000	△ 1,856	△ 4,000	△ 4,173
事業の縮小・廃止	△11,000	△ 9,945	△11,000	△10,424	△22,000	△20,369
指定管理料の削減	△11,000	△18,185	△ 6,000	△25,341	△17,000	△43,526
人件費の抑制	△62,000	△23,749	△48,000	△28,242	△110,000	△51,991
扶助費における所得制限の導入			△21,000	△31,746	△21,000	△31,746
【歳入の確保】						
幼稚園保育料等の見直し			7,000	1,641	7,000	1,641
各公共施設使用料(減免)の見直し			1,000	608	1,000	608
取り組み効果額	△105,000	△71,872	△113,000	△116,186	△218,000	△188,058

目標額は、平成21年度当初予算額をベースに設定されています。
平成22・23年度の2年間における財政健全化の目標額に対する、達成率は86.2%でした。

補正予算等

一般会計の補正(第3号)

補正予算(第2号)に3億2215万4千円を追加し、予算の総額を51億2197万2千円に改めるものです。

(賛成多数で可決)

平成24年度
一般会計補正予算(第3号)の主なもの

歳入	(単位:千円)
障害者虐待防止支援事業補助金	247
緊急雇用創出特別対策事業補助金	14,415
介護基盤緊急整備補助金	30,000
介護施設等開設準備経費補助金	5,400
子育て支援環境緊急整備事業費補助金	72,820
前年度繰越金	172,522
高速自動車国道救急業務支弁金	2,060
児童福祉施設整備事業債	5,900
小学校大規模改造事業債	18,100
歳出	(単位:千円)
路面表示設置工事	1,773
公図閲覧システム導入業務委託料	3,337
高齢者福祉施設等整備事業補助金	35,400
竜王小学校学童保育所建築工事	10,300
保育所用地造成工事	1,700
土地取得費	11,772
児童福祉施設整備費補助金	76,923
小中学校児童生徒生きる力育成事業	1,470
竜王小学校体育館等改修工事	24,517
竜王中学校体育館大規模改造実施設計業務委託料	▲5,448
減債基金積立金	100,000
公共施設維持管理基金積立金	30,000
人件費	▲2,724

特別会計の補正

☆平成24年度竜王町国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第1号)

当初予算総額に歳入歳出それぞれ524万9千円を追加し、予算総額を9億8284万9千円とするものです。

主な内容は、歳入予算として療養給付費等交付金が1万6千円、財政調整交付金が24万8千円および、繰越金が498万5千円の増額です。歳出予算として滋賀県国民健康保険団体連合会への負担金が4万2千円、医療費の増額に伴う退職被保険者等療養費が28万4千円、および特定健康診査等事業費が24万9千円の増額です。

(賛成多数で可決)

☆平成24年度竜王町国民健康保険事業特別会計(施設勘定)補正予算(第1号)

当初予算額が、医科88

60万円、歯科5440万円であり、今回歳出において予算の組み替えを行い、その総額を増減することなく当初予算の同額とするものです。

主な内容は、医科においては、人事異動および共済組合の負担金率の変更により給料等が239万4千円の減額、夜間診療の試行期間延長に伴う賃金として10万2千円の増額および実績見込みにより医薬品衛生材料費が229万2千円の増額です。

歯科においては、人事異動、昇格および共済組合の負担金率変更により給料等が12万7千円の減額。実績見込みにより医薬品衛生材料費が12万7千円の増額です。

(賛成少数で否決)

☆平成24年度竜王町下水道事業特別会計補正予算(第1号)

当初予算総額に歳入歳出それぞれ24万3千円を追加し、予算総額を6億329

4万3千円とするものです。

主な内容は、人事異動および共済組合の負担金率の変更により、給料等が24万3千円の増額です。

(全員賛成で可決)

☆平成24年度竜王町介護保険特別会計補正予算(第2号)

補正予算(第1号)の予算総額に歳入歳出それぞれ354万7千円を追加し、予算総額を6億6890万1千円とするものです。

主な内容は、保険給付費として介護予防福祉用具購入費が12万円、介護予防住宅改修費が40万3千円、地域密着型介護予防サービス給付費が23万2千円、高額医療合算介護サービス費が100万円の増額、また介護予防特定高齢者施策事業として3万6千円、地域包括支援センター運営事業に係る職員の人件費が15万6千円および第1号被保険者保険料還付金70万9千円、

地域支援事業交付金の精算償還金89万1千円の増額です。
(全員賛成で可決)

☆平成24年度竜王町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

平成25年度から実施を予定されている、収納代行業務者によるコンビニ収納に係る手数料1万4千円を債務負担行為で行うものです。
(全員賛成で可決)

企業会計の補正

☆平成24年度竜王町水道事業会計補正予算(第1号)

水道事業会計第3条予算の収益的支出の既決予定額に170万8千円を増額し、収益的支出の総額を3億2024万6千円とするものです。

主な内容は、総係費として人事異動および共済組合の負担金率変更により人件費60万2千円の減額、公営企業法改正に伴うシステム

改修業務委託料231万円の増額、また人件費補正に伴う第7条で定める経費の職員給与費を改正するものです。
(全員賛成で可決)

人事案件

◎竜王町副町長の選任については賛成少数で不同意となりました。

◎竜王町教育委員会委員の任命について同意しました。

今井 安德 氏
(七里在住)

◎竜王町公平委員会委員の選任について同意しました。

大野 稔 氏
(須恵在住)

◎竜王町固定資産評価審査委員会委員の選任について同意しました。

安田 光男 氏
(川守在住)

第1回臨時会

去る7月12日に第1回臨時会が開催され、補正予算2件、工事請負契約の締結1件が上程されました。

また、滋賀県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙が行われました。

◎平成24年度竜王町一般会計補正予算(第2号)

補正予算(第1号)までの予算47億9008万4千円に今回973万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額を47億9981万8千円とするものです。

補正予算の主な内容は、歳出では、公共交通社会実験に伴う運行委託料等に415万6千円の増額、新たなポリオ予防接種・4種混合予防接種委託料216万6千円の増額、難病患者等日常生活用具給付費26万2千円の増額、庁舎ボイラー設備修繕費25万5千3千円の増額、介護保険特別会計

への繰出金45万4千円で

歳入では、公共交通社会実験に伴う県支出金198万4千円および利用者負担金37万2千円の増額、難病患者等日常生活用具給付費に伴う県支出金19万5千円の増額、前年度繰越金718万3千円の増額です。
(全員賛成で可決)

◎平成24年度竜王町介護保険特別会計補正予算(第1号)

当初予算6億6490万円に今回45万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額を6億6535万4千円とするものです。

補正予算の主な内容は、歳出では、嘱託職員の退職に伴う介護認定調査を民間事業者に委託する費用45万4千円の増額です。
歳入では、歳出費用の財源としての一般会計からの

繰入金45万4千円の増額です。
(全員賛成で可決)

工事は、平成24年10月31日完成です。
(全員賛成で可決)

◎工事請負契約の締結について

竜王小学校改修工事について6月27日に指名競争入札が執行され、蒲生郡日野町の株式会社奥田工務店が1億6275万円で落札され、今回請負契約を締結するものです。

◎滋賀県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について

滋賀県後期高齢者医療広域連合規約第8条第1項の規定により、竹山町長が本議会議員に当選されました。



竜王小学校 改修後のトイレ

みなさんの声を町政に届けます

一般質問

11 議員が 15 問

- ①児童・生徒のいじめ、虐待問題について
- ②祖父川川床改修計画について
- ③学校教育における人づくりを目指した、
きめ細やかで質の高い学びの実現について
- ④機構改革について
- ⑤地域福祉の仕組みを制度として定めることについて
- ⑥竜王町の防災対策について
- ⑦山之上公民館の保存について
- ⑧町の農業を守るために
- ⑨近江八幡市における一般廃棄物処理施設建設予定について
- ⑩（仮称）竜王岡屋工業団地造成事業への対応について
- ⑪人口増を目指した取り組みについて

小森 重剛議員
西村 公作議員

松浦 博議員
貴多 正幸議員
内山 英作議員
菱田 三男議員
竹山 兵司議員
若井 敏子議員
岡山 富男議員
古株 克彦議員
山田 義明議員

答 本町における「いじめ」の発生状況は、平成19年度から現在までに9件発生しています。友人同士のささいな言動がきっかけとなり、からかい行為や仲間はずれに発展した事案がウエイトを占めます。どの学年でも発生しており、発生場所は子どもたちの学校生活全般で発生しています。

問 昨年大津市において、中学2年生男子生徒のいじめが原因とされる自殺事件が発生しました。
そこで、竜王町における過去の「いじめ」、「児童虐待」問題の発生と対応状況について、また今後の取り組みについて伺う。



小森 重剛議員

次に、本町の「児童虐待問題」の相談件数は、平成20年度から22年度までで75件、平成23年度は35件となっており、年々増加傾向にあります。主な虐待は、暴言や言葉による脅かし、家庭内におけるDVに起因する子どもへの心的外傷など心理的虐待の発生が多い状況です。

対応として、被害者の立場を守り抜くことを絶対とし、双方から十分な聴き取りを行い、「いじめは人間として許されない行為」だとして、深く反省を促すことを基本としています。
また、各校とも「わが校のストップいじめアクションプラン」を策定し、児童生徒自らがいじめ防止に取り組む施策を展開しています。

児童・生徒のいじめ、虐待問題について
早期発見につながるよう指導の徹底を図ります



いじめ・虐待は早期発見が第一

本町では、「子ども家庭支援調整会議」や「竜王町要保護児童対策地域協議会」を設置し対応にあたっています。
いずれの問題においても「疑わしい事案」の報告も求め、早期発見につながるよう指導の徹底を図ってまいります。

一般質問



西村 公作議員

問

本年第1回定例会にて質問しましたが、いまだ祖父川川床改修工事は実施してもらえません。今年も6月に鵜川橋の警戒水位警報が2度発令され、自治会と地元消防団が出動しています。鵜川橋より上流の川床に雑草が生い茂り、場所によっては川幅の3分の2ぐらいがそういつた状態です。

鵜川自治会からも、川床の浚渫改修を要望されているので、一日も早く工事を実施いただきたく川床の改修計画について伺う。

答

1級河川祖父川において、今日まで護岸修繕、漏水対策、竹木伐採等の河川管理を東近

祖父川川床改修計画について

工事施工の見通しです

江土木事務所において取り組みでいただいています。神部橋より上流の寄り洲や雑草等の対応については、地元自治会からの要望を含め、河川管理者の東近江土木事務所へ河川管理としての要望を行ってきました。この結果、現在は出水期であるので、今後施工区間を決定し、この冬には工事施工していただく見通しとなりました。



祖父川川床の現状

問

当町の学校園教育の推進に当たって、きめ細やかな指導が行える35人学級など教育環境の充実をされてきた。その一方で児童生徒自らが「確かな学力」を身に付け成長しようとする動機付けを教育現場ではどのように行われているのか。

答

子どもたちの豊かな心を育む教育としては、学校教育活動全体を通して、発達段階に応じた体験や学校生活そのものが肥やしとなって、豊かな心が育まれることや、学級における人間関係により社会性を身に付け、人を思いやる心が育てられると考えています。

地域連携による学校運営



松浦 博議員

学校教育における人づくりを目指した、きめ細やかで質の高い学びの実現について
今後よりよい教育を目指します

や地域教育力の発揮については、学校支援地域本部、いわゆる学校応援団を公民館において立ち上げ、地域の教育力を活かすべく取り組んでいます。今後も、より良い教育を目指していきます。

感動する体験学習の取り組みについては、交響楽団や劇団による文化芸術体験、オリンピック選手との交流などを実施してきました。「びわ湖ホール音楽会へ出かけよう」は滋賀県事業で、最高水準の芸術であり子どもたちの豊かな心を育むために、大変有効な取り組みだと考え、参加を検討しています。



竜王中学校 輝竜祭



貴多 正幸議員

問

平成24年第2回の定例会において、執行部より機構改革について次の答弁がありました。

全庁的に機構・組織を見直さなければならない時期に来ており、早急に各課の課題等について見直しを行い、総務課にてヒアリングをした後にその結果に基づき、早急に事務改善委員会という庁内組織を立ち上げて検討していきたいとのことでしたが、現在の進捗状況および今後の見通しについて伺う。

答

5月末から6月にかけて、総務主監と総務課長ならびに人事係長とで全所属長との面談によるヒアリングを行

機構改革について

平成25年度に向けての体制整備に努めてまいります

いました。

このヒアリングにおきましては、

- ①平成25年度以降に取り組む予定の業務とその執行体制について
- ②それぞれの所掌事務の見直しの必要性和具体的分掌事務の項目について
- ③平成25年度に向けての組織機構の見直しの必要性和

と改革の素案等について実態把握に努めつつ意見交換を実施したところです。

10月早々には事務改善委員会を立ち上げ、先に行いましたヒアリング結果を元に議論を重ね、平成25年度に向けての体制整備に努めてまいりたいと考えています。



現在の役場の機構

問

町は今年度から町の基本理念や目標像、施策の方向、具体的な取り組み内容などを示す「地域福祉計画」の策定に取り組んでいる。

少子高齢化、隣近所のつき合いの希薄化、介護の社会化の中で、地域包括ケアシステムの機能を参考に、町民・町・事業者等の役割を明確にし、地域福祉に関する仕組みを制度として定めることについての考えを伺う。

答

竜王町地域包括支援センターにおいて、地域包括ケアシステムの構築を念頭におき、四名で業務を実施していますが、高齢者対応が中心で、増加傾向にある高齢者以外の相談への対応は十分とは



内山 英作議員

地域福祉の仕組みを制度として定めることについて

要綱などは定めず、地域福祉計画で取り組みについて検討します

言えません。

平成22年9月からの「地域包括ケア会議」において

は、高齢者の多様なニーズに対して各種サービスの総合的な調整、個別の課題解決に向けた検討の場として決めています。これらのことを踏まえ、「竜王町高齢者安心

見守りネットワーク」を作成し、研修会も実施しました。

この地域福祉に関する仕組みを制度として定めることについては、要綱等に定めることなく、今般の地域福祉計画で取り組みについて検討していきます。



創作ヴィレッジ「こるり村」〔山之上〕



菱田 三男議員

問

近年の大雨やゲリラ豪雨により各地で災害が多発しています。近隣においても宇治市や大津市の豪雨による河川の氾濫や土砂災害は記憶に新しいところで、また当町においても避難準備情報の発令が数回実施され、幸いにも勧告や被害はなく安心したところですが、自然災害はいつ何時起こるかは誰にもわかりません。

内閣府による「南海トラフ」沿いでの巨大地震が起こった場合の被害想定は、滋賀県で死者500人、全壊・焼失する家屋が1万3千戸といわれています。このような中、竜王町における災害対策および防災についての考えを伺う。

竜王町の防災対策について

2カ年で地域防災計画を見直します

答

竹山町長が常々申し上げております「自然災害を無くすことは不可能に近いことかもしれないませんが、被害を少なくする減災への取り組みは日頃の備えから可能ではないか」とのごとく、防災への意識啓発が重要であり、町民の皆様お一人おひとりの防災への意識の高揚が「安心・安全」の確保へつながると考えています。

本町は今年度と来年度の2カ年で地域防災計画の見直しを行ってまいります。河川改修などの課題についても日頃の備えや取り組みも合わせ、関係機関への要望などを取り組んでいくことが重要と考えており、町民皆様の「安心・安全」が確保できるよう取り組んでまいります。



林地区 町職員による応急処置講習

問

「大正時代の建物である山之上公民館」は、外観は洋風作りです。町内で残っているのもめずらしく、後世に残すための施策を伺う。



竹山 兵司議員

答

滋賀県教育委員会が、平成4年に実施しました「近代和風建築総合調査」において、「山之上公民館は大正14年に建築され、総2階建ての木造擬洋風建築で、腰板等の使用など全体の造りは洋風であるものの和風の要素も取り入れられ、建具も建築当時のもので使い込まれ、黒光りしている。また、派手さや特に凝ったところもないが、ほぼ当初の姿を残している。反面、窓等の一部がアルミサッシに取り替え

山之上公民館の保存について

文化財としての価値の見極めが必要です

「大正時代の建物である山之上公民館」は、外観は洋風作りです。町内で残っているのもめずらしく、後世に残すための施策を伺う。

ためたの施策には「保存と活用」が挙げられます。今後は、所有者であります山之上連合区の意向を確認し対応します。



山之上公民館の外観



若井 敏子議員

問

竜王町では農業後継者不足が問題となっている。

ＴＰＰに参加するとすると、農業離れは一層進行することが考えられる。若い人を呼び込む施策や地域の小さな取り組み、例えば「岡屋の里山と棚田を守る会」など町としての支援が必要ではないか。

答

地域農業の維持発展のため、平成19年度から取り組みを進め、現在、農業組織17経営体、農業生産法人6組織、認定農業者24経営体を中心になって集落の農地を守り、農業の効率的、安定的

町の農業を守るために
「人・農地プラン」の策定を進めています

な農業経営に取り組んでいただいており、規模縮小等せざるを得ない農業者の農地の受け皿として二百三十ヘクタールを担っていただいています。

認定農業者全体の7割は50歳～60歳代の方です。

現在町は、集落農業発

展の方向を集落みんなの共通認識とするため、未来の設計図「人・農地プラン」の策定を進めています。

今後、若者が意欲を持てる魅力ある農業にしていくため、皆さんのご意見を賜りたいと思います。



「岡屋里山と棚田を守る会」の稲刈り

問

環境影響評価調査箇所は5カ所と聞いている。そのうち竜王町は、西横関の1カ所だけである。建設予定地から、北風が吹くと西横関をはじめ西川・鏡・松陽台・山面・美松台まで影響があると予想される。なぜ調査箇所を、竜王町の他の地域でも実施するように申し入れしなかったのか。

西横関・西川・鏡・松陽台・山面地域の方は建設反対と言われている。一般廃棄物処理施設建設予定地の件については、竜王町北部地域だけの問題ではなく竜王町全体の問題と考えてもらいたい。

また、ゴミを搬入搬出される際、日野川右岸の



岡山 富男議員

近江八幡市における一般廃棄物処理施設建設予定について
課題解決のため努力していきます

土手を拡幅してパッカー車が通行するというのは事実か。

答

調査箇所は、建設予定地から概ね半径1kmの地域内の自治会各1カ所で、竜王町は西横関だけです。一般的に同様の施設の場合に調査をされている範囲でありますので、調査箇所に

ついて増設の要請はしていません。北部地域の皆さんの問題ではなく本町の課題として、先頭に立って対応をしています。近江八幡市長にも直接、住民の皆様

の思いや考えを



一般廃棄物処理施設予定地

一般質問



古株 克彦議員

問

県および公社から、経費節減の観点から「社会資本整備交付金事業」「まちづくり交付金事業」の活用について、町が事業主体になるよう協力要請を受けている件で県にどのよう要望しているのか。

①事務所の設置場所、諸経費の負担はないか。

②地方交付税への影響はないのか。

③実質公債費比率の悪化を招かないか。

答

この県営の工業団地事業の推進については、懸案の事業であり、地元自治体として協力する考えです。

①事業推進の事務所等は、各種交付金等申請の窓口と想定される竜王町とし

(仮称) 竜王岡屋工業団地造成事業への対応について

要望しながら適切な範囲で協力します

では、現場との密なる連絡・対応が重要であることから、現場に近いところで拠点を設置するのが適切と考え県に要請しております。

係る事務諸経費については、事業主体である県および公社負担と考えます。

②造成事業費のうち、約3分の2が各種交付金等の対象事業費になり、地方交付税の算定には影響いたしません。

③町として、本事業実施の際に起債借入等を行わないので関係がありません。



地元説明会の様子

問

当町において第五次総合計画で人口増を目指す取り組みがされているが、次の取り組みについて伺う。

①中心核を活かし、既存集落より独立したスマート住宅地の確保。

②転入者の雇用を確保するための誘導と優遇条例の制定。

③トップクラスの大学を目指した進学塾の創設と夜間の公共施設の無料開放および海外留学生の奨学金制度の開設。

答

①現在、地元のご意見をいただきながら、これの支援に向けた手法の調査・研究・検討を進めているところです。検討過程において「スマー



山田 義明議員

人口増を目指した取り組みについて

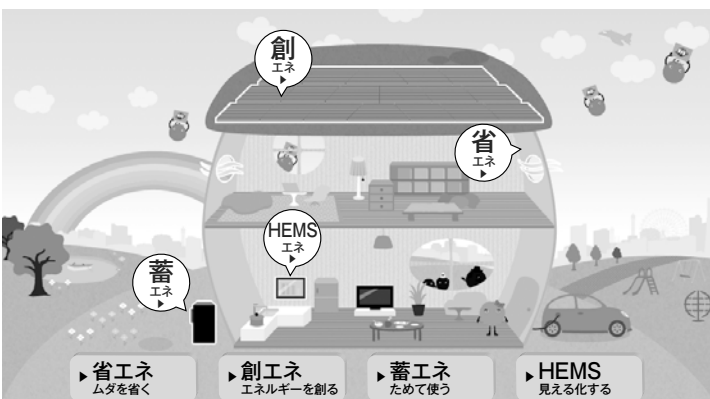
中心核周辺住宅は地元と共に、支援に向けた手法を進めています

ト住宅地」の要素についても調査検討したいと思っています。

②優遇条例の制定も含めて優遇施策の検討を行う必要があると考えております。

実施していくことで提案の目的へとつながっていくことを期待しています。

③公共施設の無料開放については特定の営利事業を援助するという点で、禁止されています。海外留学生への奨学金制度は参加者に費用の一部を自己負担いただきながら「中学生国際交流事業」を実施しており、今後も継続的に



スマート住宅の概念図

こんな質問もしました

竹山兵司議員

問 児童・生徒のいじめに関わる学校教育等について

答 本町の「いじめ等対策協議会」は、学識経験者、学校関係者、社会教育団体、保護者で構成し、学校のいじめ未然防止に努めています。また「ストップいじめアクションプラン」を策定し、早期発見、早期対応に努めています。

問 苗村神社の白鷺の被害対策について

答 苗村神社には、昨年6万1千600人の参拝者がありました。この森に白鷺の大群が営巣し、糞害、騒音、悪臭と衛生面で不安を与えています。社寺境内での狩猟は禁止でありますので、関係者と協議検討します。

若井敏子議員

問 「ゴミゼロウェイスト宣言」

答 町ではモデル地区の設定やゴミ減量チャレンジ優良地区報償事業、関係団体の活動などで、ゴミ減量化に取り組んでいます。

資源循環の考え方を浸透させるなど取り組みを積み重ねることが大事だと考えています。

問 御園産業事件の我が町への影響について

答 東近江市の報告は具体的ではなく、全容はわかりませんが本町の損害はしっかり申し出ます。
竜王町での業務については法に基づき契約しており、今後も適正な業務遂行を要請していきます。

各委員会活動

教育民生常任委員会

視察研修

7月19日・20日の2日間、東京都杉並区天沼小学校、静岡県富士宮市役所で視察研修を行いました。

〔杉並区天沼小学校〕

杉並区天沼小学校は、「杉並区立小中学校適正配置計画」に基づき、旧杉並第五小学校と旧若杉小学校を統合してできた学校であり、「よい地域がよい学校を造る」の考えの下、保護者、地元住民、学識経験者、学校関係者などで構成する統合協議会での検討を踏まえ、基本設計がなされたものです。

については、概算で6500万円となっています。

（災害時にトイレとして利用 5カ所）

天沼小学校における主な防災対策については、

- ・防災地下水槽（5t）とポンプ格納庫の設置。（災害時には格納庫のポンプにて水を供給）

・防災井戸（飲用には適さないが、災害時の生活用水として活用）

《委員からの主な意見》

- ・プール用水採水口（約250tのプール用水を消防水利として供給）
- ・マンホールトイレ用の枡

学校運営協議会を地域住民や校長・教員などで構成され、リーダーを住民代表としていること、課外活動が住民のボランティアによる幅広い活動となっている



天沼小学校の校舎



天沼小学校視察の様子

政機関)のキ
ワードで役割分
担し、その各主
体がそれぞれの
役割・責任を果
たすために多種
多様にわたる機
能をバランス良
くそろえ、個別
支援ネットワーク
を機能させる
仕組みを構築さ
れ実践されてい
ました。

本町のいじめ問題への
対応について
竜王町におけるいじめの
報告件数については、平成
19年度2件、平成20年度1
件、平成21年度2件、平成
22年度3件、平成23年度1
件という結果になっていま
すが、いずれも早期に対応
し、課題については解決し
ているとの報告を受けまし
た。こうした早期解決の背
景には、教職員と生徒の信
頼関係が大切であるとの考
えに基づいた、学級集団づ
くり、教育相談、生活ノー
トの指導等の取り組みをは
じめ、県下で竜王町のみが
設置している「いじめ等対
策協議会」の活動の成果と

こと、地域住民と児童が共
同で学校施設を地域公民館
活動にも利用されているこ
となど、地域住民と学校・
児童とのつながりの深さと
幅広さを感じることができ
た。

都心部の学校であり、狭
小な敷地で地下および地上
の空間を有効に利用されて
おり、普通教室は、各教室
が個別に区切られておら
ず、隣の教室に影響を与え
ない程度の間仕切りを留め
てあり、開放感とゆとりを
感じることができた。

〔静岡県富士宮市〕
静岡県富士宮市について
は、市直営の地域包括支援
センターを1カ所、地域の
相談受付の窓口として中学
校区ごとに地域型支援セン
ターを8カ所配置されてい
ます。

ワンストップサービスに
よる地域包括ケアを実現す
るため、自助・互助・共助・
公助をそれぞれ、民(家族、
地域住民やインフォーマル
組織)、産(各種事業所)、
学(保育園、幼稚園、小中
学校、高等学校)、官(行

〈委員からの主な意見〉

企業やコンビニ・スー
パーなど地域からの住民情
報を行政につなげる連携シ
ステム構築の必要性、また、
小中学校・高等学校におけ
る未来のサポーター養成の
ための研修等の重要性につ
いて知ることができた。

伺えました。



保育所整備予定地(竜王西小学校グラウンド南側)

保育所整備事業について

・第五次竜王町
総合計画の中
に、重点プロ
ジェクトの設
定として子育
ち・子育て環
境の向上、各
種保育サービ
スの充実を明
記しているこ
と。

〈主な質疑応答〉

問 これまで待機児童がな
かったが、今年度待機児
童が出た原因はどう考えて
いるのか。

答 ひとり親家庭が増加し
ていること、また、就労を
望まれている方が増えてき
ているようです。

問 公募をして応募の当て
はあるのか。

答 ホームページや広報な
ど、いろいろな方法で周知
をしたいと考えています。
現時点での心当たりはあり
ませんが、最大限の努力を
したいと考えています。

・平成23年度に市内少子化
対策推進本部会議を開催
し、子育て支援と若者定
住の二つの柱を検討し、
待機児童解消に向けた保
育所基盤の整備、幼保一
体化の具体化に向けた検
討の実施をまとめたこ
と。

・保育ニーズが高まって
いる現状を踏まえると、現
在の保育所定員150名
では賅うことができず、
今後の推移を考えると60
名規模の保育所整備が必
要。

・町土地開発基金が保有す

総務産業建設常任委員会

地区計画について

地区計画については、昭和43年に都市計画法が制定され、近江八幡八日市都市計画区域が決まり、市街化区域と市街化調整区域の線引きがされました。多くの制限がある中、必要な開発を進めるための手法の一つが「地区計画制度」です。

「地区計画制度」ではまちづくりの目標や方針を定め、建築物などに関する制限や道路・公園などの配置に関する具体的なルールのもとに、この計画の適正な進捗に努めているとの説明を受けました。最近実施されたのは、庁舎周辺とアウトレットです。

＜主な質疑応答＞

問 役場周辺での地区計画は難しいと思うが、役場・公民館や学校が近くに在り

非常に便利なところなので、県や国と折衝し現状を

打開できないか。

答 地区計画を行うのは住民の総意で、自治会や町民の同意が必要です。

今後は、農業委員会や都市計画審議会に働きかけてまいります。

職員研修計画と人事考課制度について

今年度の職員研修計画は

職員のやる気を引き起こし、モチベーションが高まるような研修の充実を行い、職員が自ら考え、学び、行動を起こせるように考えられています。



役場周辺の全景

新規採用職員研修が若手職員を講師に、4月に2日間実施されました。また、この4年間で11名の退職者が見込まれることから、今後、管理職になる対象者や現在の管理職も含めマネジ

メント研修の実施、また、仕事の段取りや時間的な面での仕事の進め方研修を全職員対象に実施される予定です。

人事考課制度は、人を育てる人事管理として人事評価制度を行うもので、平成23年度の試行結果を対象職員133人の態度・能力考課と課長補佐以上の対象職員42人の業務考課について説明を受けました。

＜主な質疑応答＞

問 人事考課制度をどのような理由で導入し、どのような効果を狙っているのか。

答 まずは、少ない職員数で能力を発揮し、人を育てることです。近隣の市町で

は、給与まで反映しているところは少なく、賞与は業績のところまでされているようです。

＜主な意見＞

人事考課は、給与にたとえ僅かでも反映しないと効果がいっまでも出てこない。先進地に行つて研修もしてほしい。

デマンド交通社会実験事業について

「竜王町デマンド交通社会実験事業実施要綱」が定められ、実施事業者は近江タクシーと決定されました。

運行地域は竜王町内で、誰でも利用できます。また、運行路程はエリア型で、既定路線はありません。

運行内容は、停留所間の乗合運行で、その停留所は目的地停留所（主に公共施設や医療機関・金融機関等を町が選定して設置）と出発地停留所（町内自治会内

に設置される停留所）があるが、出発地停留所間は運行できないことになっています。また、デマンド交通のため、予約のあった便のみの運行です。

運行期間は、土曜日、日曜日、祝日、年末年始の29日～3日までを除く、11月1日～翌年1月31日までの3カ月間で、運行時間は午前8時から午後7時までの1時間間隔の発車時刻となっています。

＜主な質疑応答＞

問 11月までに利用者へのPRは何をするのか。

答 10月の町広報に載せ、運行開始10日前に新聞に周知チラシを入れます。老人クラブや民生委員児童委員協議会さんにもお願いしてPRし、メディアの活用も検討しています。



地域活性化特別委員会

雪国まいたけ滋賀工場の状況について

雪国まいたけ役員の招致を前に、雪国まいたけ本社を竹山町長、蔵口議長、古株委員長、福山総務政策主監、桴木政策推進課長が訪問しました。

訪問前に町側から「来年の3月農工法の再延長を行わない。工業導入の目的を果たすべく具体的な実行事業計画を提出すること」、議会側から「今後の取り組みと見通しについて具体的に提示すること。農工計画が認められない場合の対応を示すこと」等について質問状を送付しました。

これに対して、滋賀工場のカット野菜のラインを増設して地元の野菜消費に貢献したいということ、また、広大な敷地を有効利用する

面からもメガソーラー事業を実施したいとの回答がありました。

後日、雪国まいたけの代表社員、平社長、海野本部長、若井滋賀パッケージセンター所長の出席のもと委員会協議

会を開催しました。雪国まいたけからは、カット野菜工場の増設は進めるが、メガソーラー事業については、環境が整えば事業の認可は取得したいという内容でした。



雪国まいたけ 滋賀パッケージセンターの全景

結論として、農工法の再延長を認めていただかないと、会社としても大きなダメージを受けるし、町としても本来の目的からかけ離れる結果になるのではないかと、再度の延長を希望されました。

＜主な質疑応答＞

問 農工法の延長を認めるのか。

答 延長と決めたわけではありません。委員会の意見を聞きながら、最終判断していくことになると思います。

（仮称）竜王岡屋工業団地造成事業について

現在は各種実施設計を作業中で、特に

・ライフライン（工業用水、上水道、下水道）についてはルート変更も検討され、それにかかる測量等について地元説明会が行われ概ね了解が得られました。

・県および公社から、経費節減の観点から「社会資本整備交付金事業」「まちづくり交付金事業」の活用について協力要請があり、町として協力することになりました。

①保安林の開発は行わない。
②事業対象用地から除外した土地については、竜王町の協力を得ながら、引き続き活用方策を検討する。
③企業立地については竜王インターチェンジ近接地という利点を活かし、全庁的に連携しながら早期に企業立地を達成したい。

との説明をされました。

＜主な質疑応答＞

問 どのような企業が進出するかはわからないが、上水道の供給量は十分なのか。周辺住民に支障はきたさないか。

答 基本設計の段階では、工業団地への供給は1日1

00m³程度の範囲内で計画しています。

三井アウトレットパーク増床計画の交通対策について

工期は8月中旬から来年の7月中旬で、来年夏に開業の予定です。

増床工事期間中と増床開業後の駐車場運用計画について説明を受けました。

＜主な質疑応答＞

問 ドラゴンハット駐車場の780台が運用計画台数に組み込まれている。土日はビッグイベントが開催されており、利用者への支障も考えられる。アウトレットパークの周辺民有地の活用を申し入れたらどうか。

答 他の駐車場を優先して使用し、最終必要ときに使用するよう指導した結果、現在は390台に制限しています。

議会基本条例 推進特別委員会

6月4日(月) 近江八幡市議会の本会議傍聴を皮切りに、6月25日(月) 野洲市議会改革特別委員会まで、7自治体、10の会議に12議員全員(延べ29人)が調査研究活動をしました。議員からの主な意見として

① 一般質問について

- ・ 時間制限方式を採用されているところもあるが、竜王町の進め方も優れている。

- ・ 議員の質問に対しての答弁は、まず町長が答えて、詳細は担当者がするようにしているところがあり、良いと思った。

- ・ 一般質問を、会期のどの当たりでするのが良いのか、検討すべきだと思う。

② 竜王町の議場について

- ・ 議場が暗い。明るくならないか。

- ・ 傍聴席では音量が小さく聞こえにくいので、スピーカーを置いてはどうか。

③ 運営上の問題について

- ・ 議長名で本会議の出席要求をしても、出席せず答弁を委任している委員長がある。委任に問題はなのか。

④ 所管事務調査について

- ・ 常任委員会の冒頭、予算の執行状況が報告されていた。執行状況の報告を委員会の都度求めてはどうか。

今回の出された意見については、今後議論を重ね、委員会としての意見をまとめて、議長へ提出することになっています。

昭和イキイキ人生

駕輿丁在住 菱田 修三さん

私は今から七十年前に苗村尋常高等小学校を卒業して、すぐに大阪の軍需工場へ見習工として就職しました。

昭和十九年の中ごろから米軍のB29戦闘機による空襲があり、空襲警報が発令されると防空壕に避難し、解除されると作業をする、そんな日々が続きました。

昭和二十年三月の大阪の大空襲で大阪の大半が焼野原になり、多数の死傷者を目撃し、その光景を今思い出しても身が縮む思いです。

終戦で帰ってきて東レに入社し、結婚して二男一女を授かりました。子どもも大きくなり幸せな日々を送っていましたが、妻が急な病で亡くなり淋しい思いで暮らしてきました。しかし、再婚はしませんでした。

集落におきましては、土地改良の役員として、また駕輿丁公民館の新築、子安地藏堂の新築など役員として微力ですが務めてきました。



た。

今では元気に畑で野菜作りをし、好きなゲートボールをして過ごしています。

これも集落の皆さんに支えられたことであり感謝しています。戦争のない平和な日本が続くことを祈念いたしております。

編集後記

2012年のノーベル医学生理学賞を京都大学教授の山中伸弥教授が受賞されました。

マスコミ各社のインタビュー等を拝見し一番印象的だったのは、研究を支援されている関係者や家族への感謝の気持ちを謙虚に述べておられたことです。人柄も大変素晴らしい方であると感じました。

趣味はマラソンで、「研究とはマラソンと似ている。あきらめず最後まで走り抜き、きちつと論文や特許を出していく。研究者にはそういう使命があります。」と言われていました。やはり、粘り強く継続していかねば、何事も成し得ないと思います。私も思い通りにいかないことがあっても粘り強く努力することを忘れないでいたいです。

(菱田 記)

議会広報特別委員会

委員長 内山 英作
副委員長 山田 義明
委員 小森 重剛
貴多 正幸
菱田 三男
蔵口嘉寿男